

住みよいまちづくりを進めています

市では、地権者、関係者の皆様のご協力の下、平成8年からJR白岡駅の東側地域(30.4ha)で土地区画整理事業*を進めています。

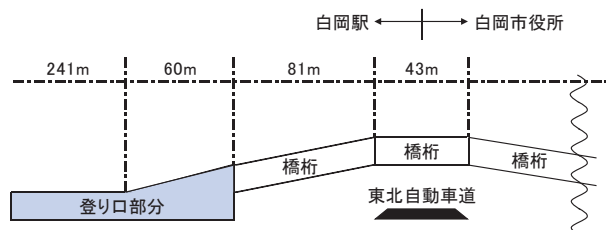
令和5年3月31日時点の地区内の道路の整備率は、72.1%(整備済延長7,105.6m/総延長9,854.6m)となっています。

現在は、白岡駅東口駅前広場まで道路をつなげ、市の玄関口としての魅力向上を図ることを目標に、都市計画道路「白岡宮代線」「白岡駅東口線」を優先して整備しています。昨年度は、東北自動車道の西側で、白岡宮代線の橋桁の架設工事や床版(実際に車両が通行する部分)の工事を行いました。



*一定の区域を定めて、地権者のかたに土地の提供をいただきながら、道路、公園、宅地を一体的に整備し、より良い街並みを形づくる事業

今後は、白岡宮代線の橋台(橋の登り口部分)や白岡駅東口線の整備を進めていきます。



また、白岡駅東口の駅前広場と白岡駅東口線の接続に向け、駅前広場の整備方針を策定していく予定です。

この整備方針の策定に当たりましては、利用者の安心・安全の確保を第一とし、可能な限り、利用されるかたの意見を反映できるよう対応していきます。



問合せ 街づくり課白岡駅東部中央担当 ☎0480 (92) 1111 内線209



受けていますか？肝炎ウイルス検診 7月28日は世界肝炎デー



▶ウイルス性肝炎とは？

B型、C型肝炎ウイルスは、主に血液や体液を媒介し、感染します。全国のB型、C型肝炎ウイルス持続感染者は、200～250万人と推定されています。感染すると、徐々に肝臓の機能が失われ、肝硬変や肝がんに至る場合があります。また、肝臓は“沈黙の臓器”と呼ばれ、肝炎になっても、無症状のまま経過し、自覚症状が出た頃には重症になっている場合もあります。

▶肝炎ウイルス検診を受けましょう

採血で簡単に検査をすることができます。40歳以上で、過去に1度も肝炎ウイルス検査を受けたことがないかたは、市の検診(500円)が受けられます。*検査の際はがん検診・肝炎ウイルス検診の受診券が必要です。

▶感染がわかったら

適切な治療を受けることでウイルスの排除が可能な場合があります。専門医へ相談しましょう。*治療効果は肝炎の種類、ウイルス量などによって異なります。

問合せ 健康増進課成人保健担当 ☎0480 (92) 1201